



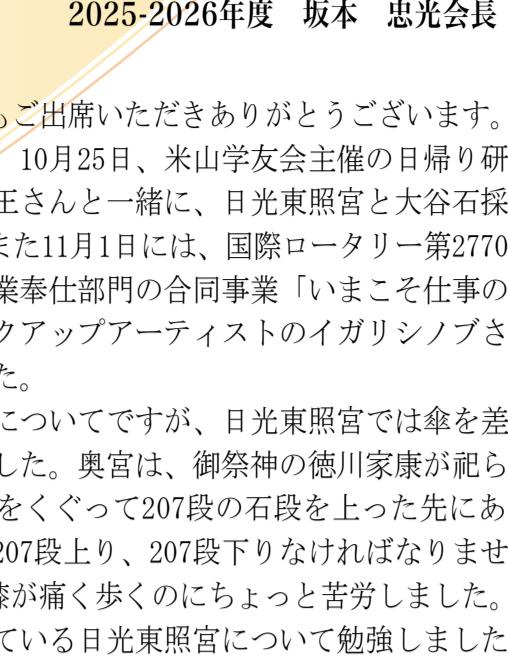
# 上尾ロータリークラブ

2025-2026年度

**UNITE  
FOR  
GOOD**

**よいことの  
ために  
手を取りあおう**

第3082回 例会  
2025.11.6



2025-2026年度 坂本 忠光会長

週報 No.2305

発行 2025年11月20日

2025-2026年度

会長 坂本 忠光

幹事 大木 崇寛

副会長 斎藤 哲雄

副幹事 奥川 淳一

編集責任者・公共イメージ向上委員会

委員長 寺脇 貴浩

## 行事予定

11月29日 親睦活動野外例会  
芋煮会  
於：上尾丸山公園  
バーベキュー場

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。前回の例会からの報告です。10月25日、米山学友会主催の日帰り研修旅行で、米山記念奨学生・王さんと一緒に、日光東照宮と大谷石採掘場跡地に行ってきました。また11月1日には、国際ロータリー第2770地区、会員増強維持部門、職業奉仕部門の合同事業「いまこそ仕事の話をしよう」と題して、マイクアップアーティストのイガリシノブさんの講演会に参加してきました。

話を戻して日帰り研修旅行についてですが、日光東照宮では傘を差して奥宮まで上がってきました。奥宮は、御祭神の徳川家康が祀られている墓所ですが、眠り猫をくぐって207段の石段を上った先にあります。足下に注意しながら207段上り、207段下りなければなりません。その結果、1週間近く両膝が痛く歩くのになんと苦労しました。

ここで徳川家康が祀られている日光東照宮について勉強しましたのでお話しします。徳川家康が亡くなられた同年、遺命によって久能山に葬られました。御遺体も納められ久能山東照宮が完成したそうです。翌年、これも家康公の遺言で、本光国師日記に「遺体は久能山に納め、江戸の増上寺で葬儀を行い、現在の愛知県の大樹寺に位牌を納め、一周期が過ぎたならば日光山に小さなお堂を建てて、勧請（かんじょう）して神として祀ること、そして八州の鎮守となろうと残されているそうです。勧請とは神道で言う分霊にあたり、仏教で言えば分骨にあたるそうで、分霊し他の神社に移すことを意味するそうです。また家康が目指した八州の鎮守とは、日本全土の守り神として徳川幕府の安泰と日本の恒久平和を守ろうとしたと伝えられています。ちなみに日光東照宮は、日本全国の東照宮の総本社の存在であり、久能山東照宮が家康の御遺体が祀られているところで、そこから富士山の山頂に向かって直線を伸ばすと日光東照宮に到達します。不老長寿信仰の靈峰富士山を通って日光東照宮まで行くということで、この直線の道は「不死の道」とも言われているそうです。また徳川家菩提寺の増上寺から江戸城を通り真北に位置するのが日光東照宮となっています。この直線の道は「北辰の道」と呼ばれています。北辰とは北極星のことです、古代中国において北極星とは真北に常に位置し不動の星であり宇宙を主宰する神と認識されていて、この思想が日本にももたらされたそうです。この二つの道から徳川家康がよみがえり神となり、不動の北極星の位置から日本全土を見守る八州の鎮守となり、朝廷から「東照大権現」という神号（しんごう）をもらって神格化されたということらしいです。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

じょう）して神として祀ること、そして八州の鎮守となろうと残されているそうです。勧請とは神道で言う分霊にあたり、仏教で言えば分骨にあたるそうで、分霊し他の神社に移すことを意味するそうです。また家康が目指した八州の鎮守とは、日本全土の守り神として徳川幕府の安泰と日本の恒久平和を守ろうとしたと伝えられています。ちなみに日光東照宮は、日本全国の東照宮の総本社の存在であり、久能山東照宮が家康の御遺体が祀られているところで、そこから富士山の山頂に向かって直線を伸ばすと日光東照宮に到達します。不老長寿信仰の靈峰富士山を通って日光東照宮まで行くということで、この直線の道は「不死の道」とも言われているそうです。また徳川家菩提寺の増上寺から江戸城を通り真北に位置するのが日光東照宮となっています。この直線の道は「北辰の道」と呼ばれています。北辰とは北極星のことです、古代中国において北極星とは真北に常に位置し不動の星であり宇宙を主宰する神と認識されていて、この思想が日本にももたらされたそうです。この二つの道から徳川家康がよみがえり神となり、不動の北極星の位置から日本全土を見守る八州の鎮守となり、朝廷から「東照大権現」という神号（しんごう）をもらって神格化されたということらしいです。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 幹事報告

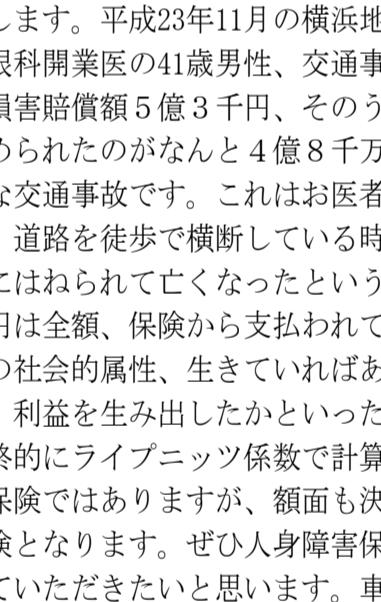
幹事 副会長 斎藤 哲雄

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



まずは労働問題についてです。業務中の事故で、1億円以上の、保険会社が関わった高額賠償判例をお話しします。あまり知られていませんが、いわゆるメガ損保から選抜された担当者が各省庁に出向しています。国、行政の方で手が回りきれないものについては、民間である保険会社ができるだけカバーする、その問題点を国と行政と民間の保険会社で擦り合わせて、次のステップに行こうというソリューションを作り上げています。保険会社の担当者が今、最も多く出向している省庁は、厚生労働省です。結論を言うと、保険会社が今念頭にあるのはもちろん2大分野である自動車保険とか火災保険ですが、3つ目の分野、さらに21世紀後半に向けて、日本の経済を支える第一要素、中小企業の労働環境をいかに健全なものに向かわせていくかというところに注力しています。従いまして業務中の事故は、昭和後期の年間5000件を頭打ちに、徐々に減っています。各企業の努力や、周りのコンプライアンスの危機管理の面が浸透てきて、令和6年では労災の死亡事案の件数が700件ぐらいまで下がっています。

まず雇用の問題、京都地裁の令和5年3月の判決です。被告は割と大きな運送会社で、原告は従業員Aさん、運転手です。Aさんは退職をしました。会社の求めに応じて退職を余儀なくされた、その退職勧奨がちょっと普通のやり方ではなかったのではないかと訴えて、地位確認、未払賃金、慰謝料として500万円を支払えという訴えでした。これだけ見ると、普通にどこが悪いのかなと思われると思いますが、このケースがちょっと変わっているのは、採用時にこの従業員Aさんが「私はうつ病である」と記載していて、採用担当者は、そこを正直に申告してきたことに好意的な印象を持ち、しかもAさんの担

## 委員長報告

国際奉仕委員会 大木 保司 委員長

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 委嘱書授与

## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告

## 例会主題～会員卓話

### 損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



## 幹事報告